

1. 事業の位置付け

事務事業名	日本語指導協力者派遣事業		
事業担当	学校教育部 指導室		
予算科目	01-100103-130000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	05	5 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	小学校・中学校、児童・生徒及び保護者	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
日本語指導を必要とする児童・生徒が、言語面での支援を受けることにより、日本での生活に適應しています。		日本語の指導が必要な児童・生徒に対して日本語指導、母語指導、生活適應指導を行うため、希望に応じて日本語指導協力者を派遣します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	日本語指導協力者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			20	20	20			
実績			21						
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標								
実績									
成果指標①	指標名	日本語指導協力者訪問時間数						単位	時間
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			2,650	2,650	2,650			
実績			2,643						
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標								
実績									
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
日本語指導の必要な外国人児童・生徒に対して、日本語指導協力者の派遣を行い、日本での学校生活に適應させることができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	現在、小・中学校には、約140名の日本語指導を必要とする児童・生徒が在籍しており、学習面・生活面等の学校生活全般において指導協力の要請がある。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	日本語指導を必要とする外国人児童・生徒にとって、アイデンティティーを含めた学校生活への適応を図るために必要である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	日本語指導の必要な外国人児童・生徒約140名に対し、小・中学校16校に延べ約50名の講師を派遣し、当該児童・生徒の学校生活への適応を図ると同時に、保護者への対応を行っている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	他課との連携により、派遣する日本語指導協力者の確保を行っている。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		現在、平塚には多くの日本語指導を必要とする児童・生徒が在籍しており、在籍数及び言語数に対する指導協力者の派遣回数等が不足している。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				日本語指導協力者の派遣	日本語指導協力者の派遣	日本語指導協力者の派遣		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	8,000	8,000	8,000	0	0
事業費 (A)		0	0	8,000	8,000	8,000	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	100.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	4,196	4,196	4,196	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	12,196	12,196	12,196	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 現在、平塚には多くの日本語指導を必要とする児童・生徒が在籍しており、在籍数及び言語数に対する指導協力者の派遣回数等が不足している。そのため、当該の児童・生徒及び在籍する学校のニーズに対応するため日本語指導者の人材確保と派遣回数の増を図る。	
平成21年度の取組方針	
日本語指導を必要とする児童・生徒のニーズに適した指導協力者の派遣回数及び対応できる多数の言語の指導者を確保したい。	
課長コメント	日本語指導を必要とする児童・生徒のニーズに適した指導協力者の派遣回数及び対応できる多数の言語の指導者を確保するための事業の拡大が必要であると考えている。